

Ⅷ コミュニティ・スクール推進事業

1 目的

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に関する研修機会の拡充等を図り、制度や事例についての理解を深めることを通じて、県内の学校運営協議会設置校の一層の拡大や取組の充実を図る。

2 事業内容

コミュニティ・スクールの全校設置と推進体制の構築をめざす教育委員会を対象とした「コミュニティ・スクール推進体制構築事業」（国庫補助事業）として実施。

(1) CSアドバイザー派遣

①趣旨

- ・コミュニティ・スクールの立ち上げや推進体制の構築に対して助言を行う実践者（CSアドバイザー）を県教育委員会に配置し、市町教育委員会や県立学校からの要請に応じて派遣する。
- ・県内全域において、市町と県立学校との関係の構築や情報の共有を推進するなど、コミュニティ・スクールの設置や取組の充実に資することを目的とする。

②CSアドバイザー



安藤 清代
元滋賀県立草津養護学校長 (CS設置校)



伊藤 照男
元湖南省立岩根小学校長 (CS設置校)



北島 恭雄
元草津市立草津第二小学校長 (CS設置校)



北辺 禎雄
元長浜市立虎姫小学校長 (CS設置校)



武井 哲郎
立命館大学准教授博士 (教育学)



中村 隆洋
元滋賀県立河瀬中学校・高等学校長 (CS設置校)



山元 尚美
湖南省立石部南小学校地域学校協働活動推進員 (CS設置校)



松田 幸夫
元長浜市立余呉小中学校主任事務主査 (CS設置校)

**わたしたちが
サポートします！**

CS導入 相談
 取組の充実 研修会講師

ニーズに応じて訪問いたします！

滋賀県学習情報提供システム

におねっと

CSアドバイザーのメッセージ動画を視聴できます！



③派遣実績

	派遣日時	研修名等 (派遣先)	派遣 アドバイザー	上段：テーマ・内容等 下段：参加者等
1	4月15日(火)	第1回滋賀県CSアドバイザー会議	6名	滋賀県コミュニティ・スクールの推進方針について
	15:00~16:30	県庁新館4階教育委員会室		CSアドバイザー、県教委生涯学習課員
2	5月9日(金)	県立学校地域協働モデル校 活動視察	安藤 清代	今後の活動内容、活動方針について
	10:30~12:00	滋賀県立愛知高等学校、愛知高等養護学校		地域コーディネーター、学校管理職、県教委生涯学習課員

3	5月22日(木)	地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業 地域学校協働活動研修会	北島 泰雄 山元 尚美	地域学校協働活動推進員の役割を考える
	15:00~16:30	長浜市役所		・地域学校協働活動推進員 ・事業取組校の学校長または教頭 ・対象地域の地域づくり協議会、まちづくりセンター等の地域学校協働活動に関わる方 約25名
4	5月23日(金)	第1回 学校運営協議会	安藤 清代	愛知高等学校・愛知高等養護学校におけるコミュニティ・スクール事業について
	15:00~17:00	愛知高等学校		学校運営協議会委員、地域コーディネーター、学校職員、県教委生涯学習課員 13名
5	7月2日(水)	第1回 学校運営協議会	安藤 清代	聾話学校におけるコミュニティ・スクール事業について
	13:15~15:00	聾話学校		・聾話学校管理職 ・学校運営協議会委員 約15名
6	7月11日(金)	コミュニティ・スクール勉強会	伊藤 照男	学校と地域の連携・協働体制の推進のあり方について
	10:00~12:00	甲良町立甲良西小学校		学校運営協議会委員 5名 ボランティア 約10名 甲良町教育委員会職員 1名
7	7月18日(金)	コミュニティ・スクール勉強会(全職員対象)	伊藤 照男	学校と地域の連携・協働体制の推進のあり方について
	13:30~15:00	甲良町立甲良西小学校		職員(各種支援員・用務員含む) 甲良町教育委員会職員 約30名
8	7月24日(木)	守山市コミュニティ・スクールに関する研修会	北辺 禎雄	守山市におけるコミュニティ・スクールの在り方について
	10:00~11:30	守山市役所		守山市教育委員会事務局社会教育・文化振興課 課長、参事、係長、指導主事、推進員、社会教育統括員 6名
9	8月21日(木)	長浜市学校運営協議会研修会	武井 哲郎	地域と学校の連携・協働を進めるための熟議
	15:00~16:30	長浜まちづくりセンター		・各校教職員(参加希望者) ・学校運営協議会委員 ・地域学校協働活動推進員 ・市事務局(教育委員会事務局教育指導課、市民協働部生涯学習課) 約70名
10	9月8日(月)	CSへの移行におけるアドバイス	中村 隆洋	事務手続きやCS移行のアドバイス
	10:00~11:30	草津東高等学校		草津東高校管理職 3名
11	10月7日(火)	コミュニティ・スクール導入研修会	北島 泰雄	コミュニティ・スクールの導入に向けて
	15:00~16:30	栗東市立金勝小学校		金勝小学校長、教頭 金勝小学校 PTA 役員 市教育委員会事務局学校教育課 7名
12	10月23日(木)	CS 会長等交流会	松田 幸夫	CS の取組交流
	15:00~16:30	東近江市役所 東庁舎		CS の充実に向けて・CS 推進体制の構築 市内 CS 実施校の学校運営協議会会長 東近江市教育委員会生涯学習課 約11名
13	10月29日(水)	今津東小学校学校運営協議会・研修会	松田 幸夫	CS と地域学校協働活動の一体的推進について
	14:30~16:30	高島市立今津東小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約15名
14	10月30日(木)	地域学校協働活動推進員研修会	山元 尚美	地域学校協働活動推進員の果たす役割
	15:00~16:30	あいこうか市民ホール		地域学校協働活動推進員 社会教育指導員 教育委員会事務局担当職員 約30名
15	10月30日(木)	朽木中学校区学校運営協議会・研修会	松田 幸夫	CS と地域学校協働活動の一体的推進について
	15:00~17:00	高島市立朽木東小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約30名
16	10月31日(金)	県立学校地域協働モデル校 活動視察	安藤 清代	今後の活動内容、活動方針について
	15:00~17:00	愛知高等学校		地域コーディネーター、学校職員、ボランティア同好会(生徒役員等) 県教委生涯学習課員 約15名

17	11月10日(月)	高島学園 学校運営協議会・研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	15:00~17:00	高島市立高島中学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約40名
18	11月12日(水)	マキノ中学校学校運営協議会・研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	13:20~15:20	高島市立マキノ中学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約80名
19	11月14日(金)	彦根市地域学校協働活動推進員研修会	山元 尚美	「CSと地域学校協働活動の一体的な推進」のために ~推進員の困りごと、解決策をみんなで考えよう~
	15:20~16:50	彦根市南地区公民館		彦根市地域学校協働活動推進員、学校職員、学校運営協議会委員、市事務局(教育委員会事務局生涯学習課) 約45名
20	11月14日(金)	本庄小学校学校運営協議会・教職員研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	14:30~16:30	高島市立本庄小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約30名
21	11月19日(水)	新旭南小学校学校運営協議会・研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	13:30~15:30	高島市立新旭南小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約15名
22	11月26日(水)	青柳小学校学校運営協議会・教職員研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	15:30~17:30	高島市立青柳小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約50名
23	12月12日(金)	マキノ西小学校学校運営協議会・教職員研修会	松田 幸夫	CSと地域学校協働活動の一体的推進について
	19:00~21:00	高島市立マキノ西小学校		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約30名
24	12月16日(火)	県立学校地域協働モデル事業に係る第1回推進員連絡会	安藤 清代 武井 哲郎	今年度の取組(成果と課題)、来年度に向けて
	10:00~11:30	県庁4階教育委員会室		モデル校校長、地域コーディネーター
25	12月17日(水)	県立学校地域協働モデル校 活動視察	安藤 清代	今後の活動内容、活動方針について
	9:00~12:30	能登川コミュニティセンター		愛知高校教職員・全生徒、地域コーディネーター 県教委生涯学習課員 約15名(生徒除く)
26	12月22日(月)	日野高等学校 学校運営協議会 設置検討	中村 隆洋	学校運営協議会の設置にむけて
	14:00~15:30	日野高等学校		校長、教頭、みらい課員 4名
27	1月21日(水)	第2回滋賀県CSアドバイザー会議	8名	滋賀県コミュニティ・スクールの推進方針について
	15:00~16:30	県庁北新館5階5-A会議室		CSアドバイザー、県教委生涯学習課員
28	1月30日(金)	高島市青少年指導者育成講座	松田 幸夫	こどもを核とした地域づくり
	15:00~17:00	高島市安曇川公民館(ふじのきホール)		地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員 高島市教育委員会社会教育課 約60名
29	2月3日(火)	近江八幡市コミュニティ・スクール研修会	伊藤 照男	地域ぐるみで子どもを育てるコミュニティ・スクールの推進について
	15:00~16:30	近江八幡市立島小学校		各校管理職 CS担当職員・学校運営協議会委員 近江八幡市生涯学習課 約40名
30	2月17日(火)	令和7年度「地域とともに子どもを育てる湖南市教育」に係る合同研修会	北島 泰雄	県内外の取組に学び、いま一度原点に帰って「地域学校協働活動」「学校運営協議会の取組」を見直そう
	14:30~16:30	湖南市共同福祉施設(サンライフ甲西)		市内小中学校 学校運営協議会委員 地域学校協働活動関係者(地域コーディネーター、地域ボランティア等)、教職員 湖南市教育委員会事務局学校教育課 約100名

31	2月24日(火)	令和7年度 地域と学校の連携と協働による 「生きる力」育成事業 第3回地域学校協働活動研修会	伊藤 照男	地域と学校の連携・協働をさらに進めるために
	15:00~16:30	神照まちづくりセンター		地域学校協働活動推進員 事業取組校の教職員 対象地域の地域づくり協議会・まちづくり センター等の地域学校協働活動に関わる方 長浜市事務局(教育委員会事務局教育指導 課・市民協働部生涯学習課) 約30名
32	3月6日(金)	県立学校地域協働モデル校 活動視察	安藤 清代	「株式会社 ECHI」の起業体験プログラム (生徒による取り組み発表)
	14:00~15:00	愛知高等学校		地域コーディネーター、学校職員、ボラン ティア同好会(生徒会役員等) 県教委生涯学習課員 約15名
33	3月12日(木)	県立学校地域協働モデル事業に係る 第2回推進員連絡会	安藤 清代 武井 哲郎	・今年度の取組について ・来年度の取組について(県域への情報発信 の方法等)
	10:00~11:30	県庁4階教育委員会室		モデル校校長、長浜北高等学校長および担 当教諭、日野高等学校長および担当教諭、地 域コーディネーター

(2) コミュニティ・スクールの研修の充実(詳細は「I 推進協議会の取組」の項に掲載)

① 「学校を核とした地域力強化プラン」研修会(みつめなおして、よりよく①)

(4月開催)

② 県立学校等コミュニティ・スクール推進事業研修会(みつめなおして、よりよく②)

(7月開催)

③ 「学校を核とした地域力強化プラン」研修会(みつめなおして、よりよく③)

(10月開催)

(3) 「学校を核とした地域力強化プラン」推進協議会の開催

・CSアドバイザーから1名が参加し、アドバイザー派遣を通じて得た市町および県立学校等のコミュニティ・スクール導入・取組充実に関する実情や課題等の情報提供を行う。

(4) 県立学校の学校運営協議会設置推進

県設置方針を策定

- ・法改正による努力義務化を受け、県立学校への学校運営協議会の設置を推進する。
- ・すべての県立学校を対象学校とし、各校の実情や意向に応じて希望する学校から順次設置する。

令和7年度(2025年度)学校運営協議会の設置校

	校名	設置年度	備考
1	長浜北高等学校	平成 28 年度 設置	
2	瀬田工業高等学校	平成 30 年度 設置	中高一貫の 学校運営協議会
3	河瀬中学校		
4	河瀬高等学校		
5	伊香高等学校		
6	彦根工業高等学校		
7	守山北高等学校	平成 31 年度 (令和元年) 設置	
8	甲西高等学校		
⑨	草津養護学校		
10	国際情報高等学校		
11	能登川高等学校	令和 2 年度 設置	学校運営協議会は 2 校で 1 協議会
12	八日市南高等学校		
13	愛知高等学校		
⑭	愛知高等養護学校		
⑮	甲良養護学校		
16	大津高等学校	令和 3 年度 設置	
17	八幡高等学校		
18	野洲高等学校		
⑲	野洲養護学校		
20	湖南農業高等学校	令和 4 年度 設置	
21	栗東高等学校		
22	信楽高等学校		
⑳	三雲養護学校		
㉑	八日市養護学校		
25	堅田高等学校	令和 5 年度 設置	学校運営協議会は 2 校で 1 協議会
26	長浜北星高等学校		
㉒	長浜北星高等養護学校		中高一貫の 学校運営協議会
28	守山中学校		
29	守山高等学校		
30	水口高等学校		
㉓	北大津養護学校		
㉔	守山養護学校		
㉕	新旭養護学校		
34	東大津高等学校		
㉖	聾話学校	令和 6 年度 設置	
㉗	長浜養護学校		
㉘	盲学校		令和 7 年度設置

○番号は、特別支援学校を表す。高等学校 24 校（中高一貫の 2 校含む）、特別支援学校 13 校で 33 協議会。

(5)令和7年度版「滋賀のコミュニティ・スクール」リーフレット

※電子データもご活用ください。(滋賀県学習情報提供システム「におねっと」内に掲載)

URL および 二次元コード

https://www.nionet.jp/lldivision/community_school/index.html



～ 2校の取組について紹介(リーフレットより抜粋) ～

学校運営協議会での **熟議** が様々な活動に **活かされています!**

甲賀市立土山小学校



「あいの土山宿場まつり 茶工場ガイド」

土山小学校では、総合的な学習の時間に「土山学」として地域学を探究的な学習になるように取り組んでいます。これまで学習してきたお茶の製造について、地域のまつりである宿場まつりでガイドとして、来られたお客様に説明をしています。また、お茶の販売などにも携わり、大盛況となりました。

地域と学校の学習がつながることで、子どもたちの地域への貢献と共に地域の良さの再発見となっています。

地域連携担当者

栗東市立栗東中学校



「今年も豊作!心を込めて販売準備」

サポーターズクラブは生徒との協働活動支援の活動を行っています。校庭内の畑で共に野菜の植え付け・収穫を行い地域の皆様へ販売しています。

ブースターズクラブは生徒の販売会の支援と接客の大切さを教える支援を行ってきました。収益金の一部は図書購入や、社協への寄付など「皆のために」の思いをもって取り組んできました。この活動を通じ校外でも「サポーターのおっちゃん」と声を掛け合う関係ができています。

地域学校協働活動推進員

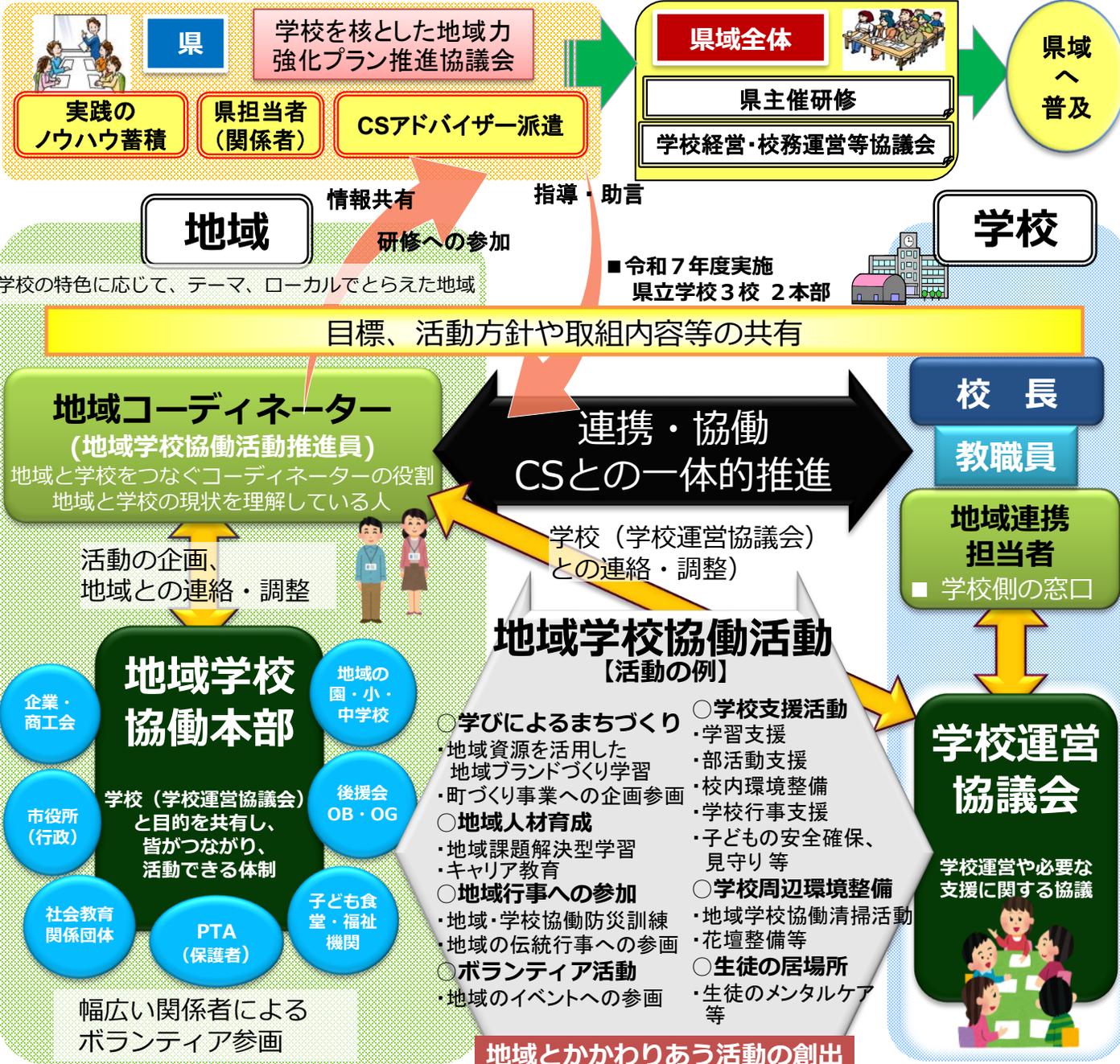
県立学校地域協働モデル事業

滋賀県教育委員会

「子どもに寄り添う」地域と学校の「連携・協働」体制を県立学校で！

趣旨

県立学校での幅広い地域住民等の参画による、地域と学校の連携・協働体制を促進し、子どもたちを支え、魅力ある学校づくりに資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図る。そうした取組をモデル的に進め、検証し、県域への普及を目指す。



期待される効果

- 子どもにとって** ⇒ 学びや体験活動が充実するとともに、地域の方とななめの関係を築き、居場所が増えることで、メンタルケアを図れる。多様な経験を積むことで、学習意欲が喚起され、自ら課題を解決しようとする資質や能力が育まれる。
- 学校にとって** ⇒ 地域人材による主体的な関わりが、高校の魅力を多様な面で引き出し、生徒と学校の成長につながる。地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制が担保される。子どもの教育を保護者や地域住民等とともに担うことで教員の負担軽減につながる。
- 地域にとって** ⇒ 地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつけられる。学校を舞台に緩やかなネットワークが形成され、地域の活性化につながる。

①県立学校地域協働モデル事業について

県立学校地域協働モデル事業は、県立学校での幅広い地域住民等の参画による、地域と学校の連携・協働体制を促進し、子どもたちを支え、魅力ある学校づくりに資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図るためのものである。

そこで、県立学校に地域コーディネーター（滋賀県地域学校協働活動推進員設置要綱第一条の推進員をいう。以下同様。）を配置し、学校運営協議会と連携しながら地域学校協働活動を推進する取組をモデル的に進め、検証し、県域への普及を目指す。

②モデル指定校および地域コーディネーター

県立学校地域協働モデル事業(R6年度～R8年度)

「子どもに寄り添う」地域と学校の「連携・協働」体制を、県立学校へ広げていきます！

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、県立学校に地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を配置しています。

愛知高等学校・愛知高等養護学校
学校運営協議会設置6年目



生徒会の生徒を中心に地元企業との商品開発や、資金調達にも挑戦しています。企業・事業者など今まで接点がありませんでした民間事業者と生徒を起業体験で繋ぎ、一過性のものにならないように持続可能なモデルを模索していきます。

地域コーディネーター



綿谷 駿太郎 さん

東大津高等学校
学校運営協議会設置2年目



学生が地域や社会が抱える課題に対して興味を持ち、学びを深める「きっかけ」を皆さんと一緒につくっていきたいです。そして魅力ある地域と学生の継続的な関係構築の一端を担えるよう努力します。

地域コーディネーター



小寺 慎吾 さん

(R7CSリーフレットより抜粋)

③今年度の取組(伴走支援)について

○推進員連絡会の開催

【第1回】

日時・場所／令和7年12月16日(火) 10:00～11:30 県庁
参加者／東大津高校校長、地域コーディネーター綿谷氏・小寺氏、
CSアドバイザー安藤氏・武井氏、生涯学習課課員3名
内容／両校の取組状況についての情報交換



【第2回】

日時・場所／令和8年3月12日(木) 10:00～11:30 県庁、オンライン
参加者／東大津高校校長、愛知高校・愛知高等養護学校校長、長浜北高校校長、
日野高校校長、地域コーディネーター綿谷氏・小寺氏・中井氏・松村氏、
CSアドバイザー安藤氏・武井氏、生涯学習課課員3名
内容／取組状況についての情報交換、県域への情報発信の方法について

○学校運営協議会への参加

モデル校の学校運営協議会や事前打合せに、課員、CSアドバイザーが出席。

○活動の視察

地域コーディネーターの活動について、課員、CSアドバイザーが視察。

④次年度以降の連携・協働活動の推進について

- ・学校運営協議会への参加、地域コーディネーターとの定期的な情報交換や活動の視察。
- ・モデル事業の取組を県域に発信。

高大連携・地域連携に基づく東大津高校 STEAM 教育プログラムの実践

滋賀県	活動名：東大津高等学校協働本部	東大津高等学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等：1人 ボランティア登録数：0人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・めざす学校像である、「生徒の夢をかなえる学校」、「保護者の期待に応える学校」、「地域に信頼される学校」を実現するため、以下のような取組を進める。
- ・びわこ文化公園都市という立地を活かし、高大連携や県立美術館等の県立施設との連携を一層深化させ、本校ならではの魅力ある教育を実践し、生徒の興味関心や学習意欲の向上を図る。
- ・授業や総合的な探究の時間等で外部講師や地域人材を積極的に活用し、地域で活躍する人材の育成(公務員・教職員・医療従事者 他)につなげる。



【 対話鑑賞の様子 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・県立美術館と連携し、県立美術館にて、探究講演会や対話鑑賞を実施した。また、対話鑑賞の発展プログラムにも新たに取り組み、「対話鑑賞を用いた作品研究」や「生徒がファシリテーターを務める対話鑑賞」にも挑戦した。
- ・龍谷大学とも連携し、瀬田キャンパスで、高等学校 DX 加速化推進事業(文部科学省指定)に関する取組や農学部アグリカフェ、探究発表会等を実施した。
- ・滋賀県埋蔵文化財センターの協力を得て、「なぜ、5000 年前の人々が食べていたセタジミは現代のものより大きいのか？」実習を通して、文理横断的に探究した。

■ 実施に当たった成果および課題

- ・学校運営協議会の委員から、建設的な意見や関係機関との連携についての助言が出されたことで、様々な取組が実現した。
- ・個々の取組では、予想を超える進捗があり、校外の反響も大きかった。
- ・「開かれた学校」を学校自身が意識することにより、様々な有益な情報が収集でき、信頼関係の構築につながった。
- ・東大津高校のグラデュエーション・ポリシーで示している、変化の激しいこれからの社会において自己解決力を備えた人材を育成する取組を実践できた。
- ・「総合的な探究の時間」や「主権者教育の充実事業」の取組については、行政や地域等を含めた関係機関の協力が不可欠であり、支援者の開拓が必要である。
- ・小中学校の頃に地域ボランティア等を経験してきた生徒のサポートが必要である。
- ・学校は生徒や生徒会の主体的な取組の支援に努めるとともに、成果を受験等で利用できるような情報の収集と提供が必要である。



【 龍谷大学での特別講義の様子 】

■ 次年度にむけての展望(事業の予定等)

- ・大学だけでなく、小中学校との連携も意識し、東大津高校周辺地域にある小・中・高・大のすべてがつながる探究の取組の実践に挑戦する。
- ・周辺大学や県立施設との更なる連携プログラムの開発にも取り組む。

■ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 副校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(総合的な探究の時間担当教職員)

報告書記入者(教頭)

愛知高校・愛知高等養護学校 地域とともにある学校「地域共学」

滋賀県	活動名：愛知高等学校・愛知高等養護学校協働本部	愛知高等学校・愛知高等養護学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等：1人 ボランティア登録数：10人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校行事支援
- ・地域人材によるキャリア教育
- ・就業体験
- ・学校の情報発信
- ・校内環境整備



【「株式会社 ECHI」の活動の様子】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

【愛知高等学校】

- ①愛荘町商工会の協力によりプレジョブシップ(2日間の就業体験)を実施した。
「株式会社 ECHI」として以下のイベントに出店した。
 - ・愛荘町観光協会主催の「中山道宿場まつり」
 - ・愛荘町商工会主催の「愛荘 66 かまど祭り」
 - ・愛知高等養護学校主催「あいあいフェスタ 2025」

【愛知高等養護学校】

- ②「あいあいフェスタ 2025」の開催(『地域社会への参加と貢献』をテーマに掲げ、関係各所と連携しながら、地域と共に作り上げる行事へと発展させて計画した。)

■ 実施に当たったの成果および課題

【愛知高等学校】

- ①プレジョブシップにより就業に対する意識向上につながった。
- ②「株式会社 ECHI」を起業し、出資金を募り、出店に関わる企画・運営(顧客ターゲットの分析を行う)について、自分たちで意見を出し合い能動的な活動を行うことができた。

【愛知高等養護学校】

- ③生徒が地域の方々と交流しながら主体的に活動を楽しむ姿が見られた。
- ④課題としては、以下のとおりであった。
 - ・より円滑な運営のために、来場者の予想される動線を踏まえた会場レイアウトをどうするか。天候が悪い場合の開催場所についてどうするか。
 - ・人手が足りない場合の応援体制をどうするか。体験活動をいれると手が回らないところが出てくる。
 - ・この行事の認知度と集客数を上げるためにはどうすればよいか。



【「あいあいフェスタ2025」】

■ 次年度にむけての展望(事業の予定等)

【愛知高等学校】

- ①プレジョブシップの継続と共に就業体験できる新規の事業所等の開拓を継続して行いたい。
- ②「株式会社 ECHI」を起業することで、出資金を募り利益を出し出資者に還元できるようにするとともに、地域との連携を深めていく。

【愛知高等養護学校】

- ③「あいあいフェスタ 2025」を、今年度の反省を生かし、さらに地域と連携を進めるとともに生徒の学びが深められる取組としていきたい。

■ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 副校長 教頭 事務長 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(副校長)